

クマタカ（タカ科） 全長オス72、メス80センチ

滅多に見ることが無いクマタカが大仙市に飛来した。

絶滅危惧種ⅠBに指定される希少種で、森林性の野鳥であることから平地での観察例はかなり少ないようだ。

雄物川と玉川が合流する地点に、通称「なだら」と呼ばれる急峻な崖が聳えている。ここは猛禽類がよく飛来する場所でもある。オジロワシ、オオタカ、ミサゴ、ハヤブサなどが観察されています。この場所特有の地形が関係しているのではないかと思われる。



片脚を上げたまま、殆ど動かない。

崖の真下は雄物川と玉川の流れがあり、魚や小動物、昆虫なども多数生息しています。

10月19日、ナダラで見つかったクマタカは若鳥であった。クマタカの餌となるウサギやヘビが見つかる場所だろうか。



右向き



左向き

この地域で数年に1回くらいしか観察されませんが、それでも他よりは多い方だろうと思われます。ナダラ周辺は、猛禽類を惹きつける何かがあるのでしょうか。



2016-11-8 ナダラの下、三角州に飛来した。



2010-4-8 羽縁が白いことから若鳥と思われる。